

津観音保存会 入会申込書

私は本会の趣旨に賛同し、入会を希望します

申込日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

個人で入会されます方

ふりがな			
氏名			
生年月日	年 月 日	性別	男 女
自宅住所			
TEL		携帯	
FAX		mail	

企業・団体で入会されます方

企業・団体名		担当者	
住所			
TEL		携帯	
FAX		mail	

会員登録	個人 法人	資料送付先	個人 法人
お支払い方法	現金 振り込み	HP、境内看板等への御名前の掲載	可 否

◆お振込口座

金融機関名：百五銀行

支店名：大門町出張所 (店番504)

口座種別：普通預金

口座番号：9 4 6 9 0

口座名義：ツカンノン ホゾンカイ(津観音 保存会)

※各金融機関から発行された振込証明書(受領書)をもって領収書に代えさせていただきます。

※領収書を希望の方には郵送もさせていただきます。

〒514-0027

三重県津市大門32-19

津観音保存会

TEL059-225-4013 FAX059-226-7057

津観音保存会入会のお願い

拝啓 津観音は古来より日本三観音の一つに数えられ、多数の文化財と長い歴史を有す寺院であります。奈良時代の和銅2年（709年）の開山以来、津はもとより全国の人々から「津の観音様」として親しまれてきました。しかし、太平洋戦争の戦火によって、国宝を含む文化財と堂宇を悉く焼失しました。この際、辛うじて難を免れた文化財や寺宝等も数多くあり、これらは地方、ひいては日本の歴史の一端を物語る貴重な資料であると言えます。

現在、皆様方のお力によって五重塔をはじめ、多くの建造物が再建され、文化財にいたっては国の重要文化財に指定されるまで復興してまいりました。しかし、まだまだ往来の津観音の姿には至っていないのが現状です。

2025年は戦後80年を迎えます。津観音の文化財や堂宇を未来に引き継ぎ、地域の文化と歴史を守り育むため、何卒、保存会の活動に御理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

目的

- 1、津観音の維持、復興および文化財の護持保存を目的とする。

事業

- 1、建造物の管理、補修等に関する件
観音堂、五重塔をはじめとする建築物の保全や補修、再建事業。
- 2、文化財の管理保護に関する件
文化財の保護・保存および修復事業。
- 3、境内の環境整備に関する件
境内の美化および環境保全のための事業。
- 4、年中行事（祭礼）に関する件
年中行事や祭礼の準備活動や開催支援。
- 5、その他、目的達成するために必要な事
津観音の維持、発展、復興のために必要とされる活動や事業。

年会費

- 1口 10,000円 （何口でも可能）

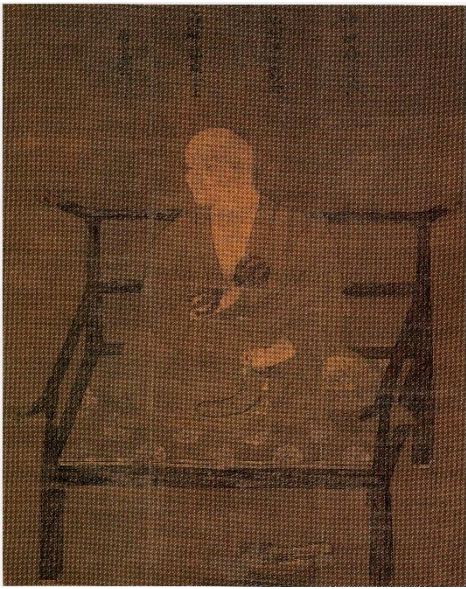
以上

お問い合わせ

津観音保存会 会長 伊藤 歳恭

〒514-0027 三重県津市大門 32-19

TEL 059-225-4013 FAX 059-226-7057



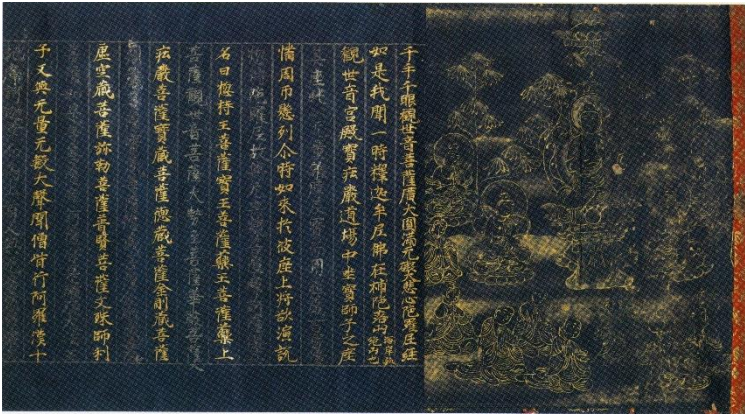
重要文化財 弘法大師像
鎌倉時代



県指定文化財 愛染明王像
室町時代



県指定文化財 虚空蔵菩薩像
鎌倉時代



千手陀羅尼經 平安時代



藤堂高虎像 徳川家康像 豊臣秀吉像



国宝 観音堂 1613 年建立
焼失



国宝 阿弥陀堂 1640 年建立
焼失



仁王門 1629 年建立
焼失

